

差出人: 和食文化ネットワーク_九州
送信日時: 2022年12月26日月曜日 11:18
件名: 【地域の和食文化ネットワーク九州メールマガジン 第47号 2022/12/26】

地域のお届け！

地域の和食文化ネットワーク九州 メールマガジン 第47号

配信日: 2022/12/26



【目次】

1. 近畿農政局 令和4年度「和食オンラインセミナー」参加者募集
2. 文化庁 日本全国「100年フードフォトスタンプラリー」を開催
3. 和食会議 全国「和食」連絡会議第8回交流会「1204和食セッション」の動画公開
4. 農林水産省ホームページ「新事業・食品産業部」サイトのご紹介
5. 事務局からのお知らせ

1. 近畿農政局 令和4年度「和食オンラインセミナー」参加者募集

近畿農政局では、次世代に和食の魅力を伝えるきっかけになればと、和食に欠かせない「酢」に焦点を当て、関西のお酢の歴史や食文化を学ぶ基調講演とパネルディスカッションを開催します。

配信日時: 令和5年1月24日(火) 14:00~16:00 ※オンライン(Zoom)

定員: 100名(先着順)

参加費: 無料

内容: 基調講演「和食と酢」 京都府立大学文学部和食文化学科 特別専任教授 佐藤 洋一郎氏

パネルディスカッション「和食文化の保護・継承を進めるために～お酢の魅力をさぐる～」

パネリスト 飯尾 彰浩 氏(株式会社飯尾醸造 五代目当主)

佐々木 勝悟 氏(株式会社いづう 八代目当主)

大石 和男 氏(文化庁参事官(食文化)付 文化財調査官)

対象: 「地域の和食文化ネットワーク近畿」会員及び和食や食文化に興味・関心をお持ちの方等

募集期限: 令和5年1月20日(金曜日)

https://www.maff.go.jp/kinki/press/keiei/tiiki_syokuhin/221209.html

2. 文化庁 日本全国「100年フードフォトスタンプラリー」を開催

文化庁では、地域で世代をこえて受け継がれてきた食文化を、100年続く食文化「100年フード」と名付け、全国各地の地方自治体、食関連団体と継承・発信する活動を行っています。(昨年度は131件を認定)

今回、100年フードを通して、全国各地の食文化の更なる発信に繋げていくため、日本全国の100年フードを巡る一般参加型のスタンプラリー「100年フードフォトスタンプラリー」を開催します。

全国各地の100年フードを食べて、食文化を学びませんか?

参加していただいた方には、100年フード関連商品をプレゼントいたします。(応募多数の場合は抽選)

ご家族と、ご友人と、おひとり様も、皆様のご参加をお待ちしております。

■開催期間：令和5年1月13日（金）～2月19日（日）

■対象店舗：下記ウェブサイトの参加飲食店舗リストに掲載されている店舗

■スタンプラリー公式サイト：<https://foodculture2021.go.jp/stamprally/>

100年フードフォトスタンプラリー（チラシ）

⇒ [https://foodculture2021.go.jp/wp/wp-](https://foodculture2021.go.jp/wp/wp-content/themes/foodculture/assets/pdf/stamprally-panf.pdf)

[content/themes/foodculture/assets/pdf/stamprally-panf.pdf](https://foodculture2021.go.jp/wp/wp-content/themes/foodculture/assets/pdf/stamprally-panf.pdf)

文化庁Webサイトでの報道発表

⇒ https://www.bunka.go.jp/koho_hodo_oshirase/hodohappyo/93808801.html

3. 和食会議 全国「和食」連絡会議第8回交流会「1204和食セッション」の動画公開

12月4日（日）、全国「和食」連絡会議第8回交流会「1204和食セッション」～次代に繋ぐ和食の集い～が、千代田区のJA共済ビルカンファレンスホールで開催されました。

この「1204和食セッション」は和食文化の保護・継承に関して、和食会議の会員と全国で同じ志を持って活動されている会員以外の方々が情報を共有し、連携することによって、それぞれの行う和食文化の保護・継承活動を国民運動に発展させていくよう「和食」がユネスコに無形文化遺産として登録された2013年12月4日にちなみ、2015年より毎年12月4日に開催しています。

第8回となる本年は、新型コロナウイルス感染への対応を考慮しつつ、多くの方に参加していただくことを意図しました。また、インターネットによる同時配信は引き続き実施しました。

本年の参加者は会場83名、インターネット40名の123名でした。13:30に開会、全国「和食」連絡会議議長による開会宣言、来賓代表のご挨拶があり、その後二つの講演、ワークセッションが行われ、16:30に閉会しました。

1204和食セッションの内容は、以下で動画を公開しております。

パート1. 議長開会宣言、来賓紹介、来賓代表ご挨拶

パート2. 講演「和食における漆器の役割」 三田村有純氏

パート3. 講演「家庭の茶碗 ～和食がたどった道、それは食器とともに～」 大江純正氏

パート4. ワークセッション 「家庭に和食器を」 会場の様子

<https://washokujapan.jp/info/info-20221218/>

4. 農林水産省ホームページ「新事業・食品産業部」サイトのご紹介

農林水産省で和食文化保護・継承を担当する「外食・食文化課」が属する新事業・食品産業部のWebサイトでは、「うちの郷土料理」の紹介をはじめ、身近・手軽に、健康的な「和ごはん」を食べる機会を増やしてもらうための官民協働の取組「[Let's! 和ごはんプロジェクト](#)」が提供するレシピや省公式のYouTubeチャンネル『BUZZ MAFF』の関連動画の公開などの最新情報等を掲載しています。

ぜひ一度ごゆっくりご覧下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/index.html>

5. 事務局からのお知らせ

2022年も残すところあと僅かとなりました。

会員の皆様には今年も本ネットワークの取組に何かとご協力いただき大変お世話になりました。

今年2月に設置2年目を迎えた本ネットワークでは、少しでも会員の皆様のお役に立てるよう、メルマガ配信においては、会員様の取組のご紹介など新たな企画を盛り込みながら、できる限りタイムリーな情報提供を心がけて参りました。また、2回目となるイベントについては昨年とは趣向を変え、会員様同士で繋がっていただくことを目的としたミーティング（情報交換会）を開催いたしました。

来年は更に本ネットワークを積極的に活用していただき、会員の皆様と共に地域の和食文化保護・継承の取組を推進できれば幸いです。

